

総合調査報告書『技術と文化による日本の再生』を刊行しました

国立国会図書館調査及び立法考査局は、国会の活動を補佐する役割を担っており、その一環として、分野横断的な国政課題について調査を実施しております。

平成23年から平成24年にかけては、「技術と文化による日本の再生」と題し、東日本大震災後の我が国経済の進路と成長戦略について調査を進め、この度、2分冊の報告書を刊行いたしました。



報告書の内容

① 調査報告書「技術と文化による日本の再生—インフラ、コンテンツ等の海外展開—」

- ・我が国の成長戦略の歴史的変遷、現状、課題
- ・インフラ産業とコンテンツ等の海外展開(鉄道、水ビジネス、医療、日本語教育等)
- ・米国、フランス、ドイツ等、主要各国の対外経済戦略

② 国際政策セミナー「世界経済の動向と日本の成長戦略」報告書

平成24年1月に開催したセミナーの講演記録です。国際経済学の第一人者であるリチャード・ボールドウィン教授(ジュネーブ高等国際問題・開発研究所)による基調講演と、それに基づく国内専門家を含めたパネルディスカッションの講演録を掲載しています。



(リチャード・ボールドウィン教授)



(パネルディスカッションの様子)

【入手方法】 報告書は国会議員、都道府県立図書館等に配布します。また国立国会図書館のホームページにPDFファイルを掲載しています。(トップページ>国会関連情報>『調査資料』>2012年刊行分)
URL: <http://www.ndl.go.jp/jp/data/publication/document/2012/index.html>

【お問い合わせ】 国立国会図書館 総務部総務課広報係 電話:03-3506-5103(直通)
* 報道関係者には報告書1部をお分けします。ご希望の方はお問い合わせください。

① 総合調査報告書「技術と文化による日本の再生—インフラ、コンテンツ等の海外展開—」

はじめに

総合調査「技術と文化による日本の再生」の目的及び視点

第Ⅰ部 概論

- 1 企業の国際化による日本の再生 —政策の役割を議論する—
- 2 我が国経済の推移と成長戦略
- 3 貿易構造・投資構造にみる日本経済の成熟と今後

第Ⅱ部 我が国のインフラ、コンテンツ等の海外展開

- 1 鉄道インフラの輸出 —新幹線を中心に—
- 2 水ビジネスの海外展開 —地方自治体の動向を中心に—
- 3 福島第一原発事故後の原発輸出支援策
- 4 医療の国際化 —外国人患者の受入れをめぐる—
- 5 我が国コンテンツ産業の海外展開
- 6 日本語普及による我が国プレゼンスの向上
—経済成長を推進する知的基盤構築のために—
- 7 我が国のパブリック・ディプロマシーの変遷と今後の課題
—インドネシアの事例を中心に—

第Ⅲ部 諸外国における対外戦略の事例

- 1 米国における国家輸出戦略構想(NEI) —輸出による経済再生戦略—
- 2 フランスの対外文化活動 —文化的プレゼンス再生に向けた取組み—
- 3 ドイツの対外経済政策 —中小企業の国際展開を中心に—
- 4 中国企業の海外進出 —「走出去」戦略の理念と実際—
- 5 韓国インフラ産業の海外市場拡大に向けた取組み

おわりに

② 平成23年度国際政策セミナー 「世界経済の動向と日本の成長戦略」報告書

- ・ 基調講演プレゼンテーション資料
- ・ 基調講演「21世紀型地域主義を日本のために機能させるには」
- ・ パネルディスカッション

基調講演者：リチャード・ボールドウィン(ジュネーブ高等国際問題・開発研究所教授)

コーディネーター：戸堂 康之(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授)

パネリスト：渡邊 頼純(慶應義塾大学総合政策学部教授)

服部 聡之(株式会社エンビズテック代表)

山口 広文(国立国会図書館専門調査員、総合調査室主任)

* 肩書は2012年1月当時